



産婦人科病院が運営する産前産後ケア施設の1階部分に、定員約20人の認可外保育施設として昨年オープン。現在、0〜2歳児を受け入れている。湖をモチーフにしたという天井の鏡は、敷地内にある園庭の狭さを視覚的にカバーするだけでなく、外光を効果的に取り入れる工夫だ。「子ども達は天井の鏡に映った自分の姿や景色を面白がります。そういった経験を踏まえ、徐々

### 天井に広がるミラーに注目!

ガーデングロウンサライ  
(東京都江東区)

にモノを認識してゆくのだから面白い! (池澤明希子園長)。設計は落合守征デザインプロジェクト。可動式の壁で部屋を3分割に細かく仕切って使用することもできる。イタリアの老舗の建築デザイン誌「domus」の世界ベストスクール10選にも選出された入会金3万円、年間ではなく月ごとの契約で、月間保育料8万円(1歳児の場合)。一時預かり1時間1100円。

### 少子化時代だから面白い! デザイン園舎のいま

「周囲の池や山林、原っぱと一体化した空間」をコンセプトに昨年竣工。保育施設にありがちな過剰な装飾を一切排除した、妙にオトナっぽい保育園である。「建物の部材にはさまざまな種類の木材を使用していますが、壁や天井など、基本的に無垢の木です。子ども達に木の肌触りや温もり、香りを五感で感じてほしいからです」(山本佳子園長)。多目的ホール(上)には星

### 自然との一体化がコンセプト

豊野保育園(三重県津市)

に見立てたペンダントライトを配置。これは子ども達が星座観察の楽しさを知るための趣向とか。シンプルなダイニング(下)はテラスにつながっており、外に広がる自然環境と直接触れ合うことができる。設計はこれまで460件もの幼児施設を手掛けた「日比野設計+幼児の城」による。年間保育料は約40万円(津市課税額最高区分3歳児の場合。所得により異なる)。

